

夏の参院選勝利へ

東部、中部両地区が地区党会議

日本共産党の東部地区委員会は17日に松江市で、中部地区委員会は18日に出雲市で地区党会議を開きました。両地区党会議には、亀谷ゆう子参院鳥取・島根選挙区予定候補が参加しました。

会議では、4中総で提起された「要求対話・要求アンケート」活動に取り組んだ支部から「有権者と党とのつながりが生まれ、強くなるなどの確かな手応えを感じた」などの報告がありました。

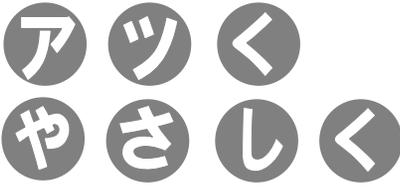
参院選勝利に向けては、今年2月に開催し、地

9条生かした外交で平和の準備を

3月末、アメリカのヘグセス国防長官が来日し「西太平洋で有事が起こった際には日本は最前線に立つことになる」

大平よしのぶ

衆議院議員



「日本は平和を欲するならば戦争の準備をしなければならぬ」と言いました。

実際に石破政権・自民党は着々と戦争準備を進めています。沖縄では有事に備えて九州や山口に島民を避難させる計画を公表しました。首都東京のど真ん中に「統合戦司令部」という陸海空の自衛隊を束ね、アメリカの指揮下で敵基地攻撃を行う体制をつくりました。民間の空港や港を軍事優先で利用する特定利用空港・港湾に4月、中国地方で最初となる鳥取県境港市の境港が指定されました。一昨年、岡山空港で自衛隊が訓練を行ったこと

区委員長に向瀬慎一氏、副委員長には安達美津子(益田市議)、加藤愛、多田伸治(江津市議)の3氏を選出しました。

島根県党会議は5月25日に大田市・あすてらすで開かれます。



白川よう子参院比例予定候補の「LINE公式アカウント」です。スマホで左のQRコードを読み込んでチェックアウトして、白川よう子と日本共産党をどんどん話題にしてください。

インスタグラム、フェイスブックのフォローもよろしくお願ひします。

白川よう子 LINE公式アカウント 友だち募集中

今度こそ 白川よう子 国政へ

白川よう子と日本共産党をどんどん話題にしてください

は記憶に新しいことです。広島県呉市ではマツダスタジアム36個分の広大な敷地を防衛省が一括購入し、巨大ミサイル工場、軍用無人機製造施設、弾薬庫に訓練場、ヘリポートと一大軍事拠点をつくろうとしています。山口県の米軍岩国基地はオスプレイ配備を始め、益々の拡大強化を進めています。九州・沖縄、四国も含め、まさに西日本が戦争準備の最前線の地域と位置づけられ、大変貌を遂げようとしています。

だからこそ、参院選で比例5議席を必ず実現し、西日本17県を主な活動地域とする白川よう子さんを国会に送り出し、その危険性とともに住民の不安と怒りの

声を届け、この流れにストップをかけなければなりません。

「台湾有事に備えて」といま政府がやるべきは「避難訓練」などではなく、中国とアメリカ双方に軍事的な抑圧や武力介入は絶対にやってはならないと求めることです。「お互い脅威にならない」と確認している日中首脳間の約束を今こそ果たそうと、本気で外交交渉をやるべきです。戦後80年という節目の年の憲法記念日を迎えました。平和を欲する私たちは今こそ戦争準備ではなく、憲法9条を守り生かした平和外交、平和の準備をつらぬく政治に変えようではありませんか。(5月7日記)

地域の話題

南 教員不足問題 上代議員が質す

全国的にも教員不足で、このままでは学校がもたない大きな問題になっています。

私は「毎年のように先生が足りない」「退職した元教員にも代替の声がかかっている」などの声を紹介し、市内小中学校の今年度及び新学期の状況はどうなっているのか質問しました。

小田川教育長は「今年度当初は教員の未配置はなかったが、本来、常勤勤務者を配置するところに非常勤講師を配置している学校が小学校で6校、中学校で2校あった。新学期は教員の未配置はない。ま

アソビ

南 国保料の軽減を 伊藤議員が要求

伊藤議員「本町の国保料と島根県の協会けんぽの保険料には約2倍の格差があります。国保には、協会けんぽにはない「均等割」があるためです。

子どもの均等割が半額免除とされましたが、未就学児までとなっており、小中高生には運用されていません。せめて、子どもの均等割を高校卒業まで免除することを子育て支援として提案します。

た、非常勤講師の配置は今年度より減る予定」と答弁しました。(「上代かずみの議会報告」より)

江 津 農業用水復旧へ 党市議団が市へ要望

過去の豪雨災害で壊れた農業用水路について、共産党市議団へ修繕の相談が寄せられ、現地確認の上で市農林水産課へ対応を求めました。150mある用水路には山水や雨水が集中して流入し、豪雨の際に側面が崩壊して寸断されました。一時は自己負担での復旧も検討していましたが、2024年度末に行政による復旧工事が実施されました。(「こうつ民報」より)

等割免除など、特定の人だけ免除でなく、全被保険者に保険料減少を享受してもらうことを重視し、保険料の据え置き、引き下げで対応する。(「伊藤好晴の議会報告」より)

2025年 第62回 島根県母親大会

大会テーマ：被爆から80年、平和な未来を子どもたちに

6月15日(日) 会場：あすてらす (大田市大田町大田イ236-4)

9:45~15:30(受付9:15~) 参加費 500円(高校生以下無料)

分科会 9:45~12:10 「子育て」「平和」「食と農」「社会保障」「あそびの広場」 詳細は裏面をご覧ください

全体会 13:00~15:30 オープニング・記念講演 運動の交流・大会アピール採択等

記念講演 13:35~14:55 『置き去りにされる「原爆被害者」 -平和につなげる「救済」の視点』 講師 小山美砂さん(ジャーナリスト)

「おたのしみ会」(語)あゆみ保育園 小原祐希さん(5歳児)

地元のおいしいもの ハンドメイド作品の 販売もお楽しみに!

こちらからでも参加のお申し込みができます

主催：島根県母親大会実行委員会(松江市母衣町5-5) 第62回島根県母親大会実行委員会/大田母親大会実行委員会 0924-5511

後援：大田市教育委員会/大田市PTA連合会 (お問い合わせ先 090-7503-5561)

母親大会は、ビヤニ環状での「第5号電丸」の始発をききかけに始まった平和を願う全国の母親たちの運動です。